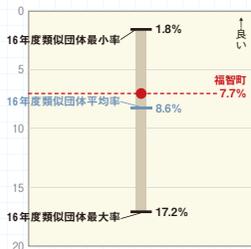


公債費(借金)負担の健全度

起債制限比率 [7.7%]

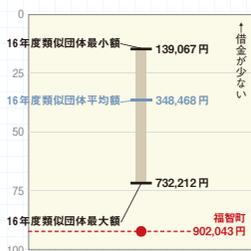


この比率で借金返済の財政負担の度合いが判断され、20%を超えると地方債(借金)が制限されます。福智町の借金は多額ですが、返済額の一定割合が国から交付税措置される借金が多いため、起債制限比率は抑えられています。

16年度全国平均 11.2%
16年度福岡県平均 11.6%

将来負担の健全度

人口1人あたりの地方債現在高 [902,043円]

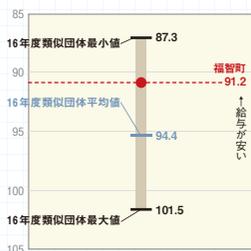


借金額は旧3町(方城町約91億6千万円、金田町約73億8千万円、赤池町約53億7千万円)と福智町分を足し、237億6千万円にまで膨れ上がっています。16年度の類似団体の最下位を大きく引き離し、非常に厳しい状況です。

16年度全国平均 466,109円
16年度福岡県平均 650,979円

職員の給与水準の抑制度

ラスパイレス指数 [91.2] (旧3町平均)

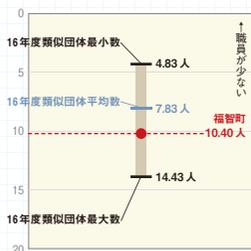


国家公務員の給与と100とした指数で職員の給与水準を表します。16年度は福智町としての算出が難しかったことから、旧町(方城89.7、赤池91.4、金田92.4)の平均をあてています。福智町の職員給与は全国平均以下です。

16年度全国平均 97.6
16年度福岡県平均 93.7

職員の定員管理の適性度

人口1,000人あたり職員数 [10.40人]



福智町の普通会計に属する職員数は274人(うち技能労務職32人)で、人口1,000人あたり10.4人です。合併直後で削減は進んでいませんが、今後は退職者数も増え、採用も抑制することから、確実にこの数は減っていきます。

16年度全国平均 8.12人
16年度福岡県平均 6.81人

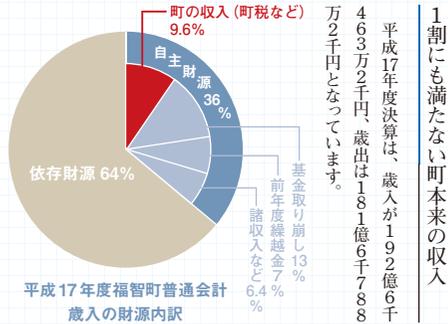
通信欄

・財力が弱く、支出が減っていないため、金にゆとりがありません。大胆なスリム化で、コストを削減しましょう。

・借金があまりにも多すぎます。早急に減らしましょう。この先、お金を借りるときもよく考えて！少ないお金で大きな成果を上げられるよう、町の未来を想定して使いましょう。

・みんなで知恵を出し合い、収入が増える有交り手だてを考えましょう。

・このままでは本当に危険です。過去の経験を思い出して、努力してください。

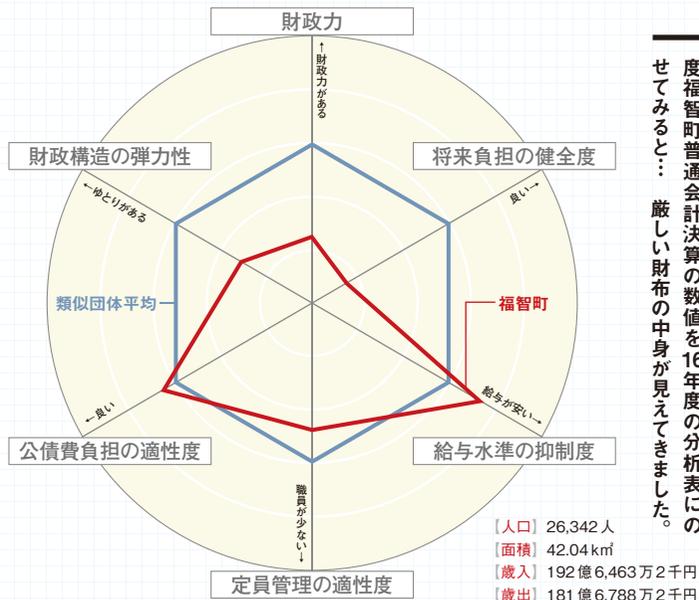


1割にも満たない町本来の収入

平成17年度決算は、歳入が192億6千463万2千円、歳出は181億6千788万2千円となっています。

歳入では、国や県に頼った依存財源が64%で、自分でまかなえる自主財源が36%という内訳です。しかし、自主財源の中には全体の13%にあたる貯金の取り崩し(25億251万1千円)や前年度からの繰越金などが含まれているので、実際の福智町における町税などの収入は、9.6%(18億5千540万3千円)と、全体の1割にも達していません。福智町は、簡単に言えば、親の仕送りや借金に頼って生活しているような状況です。

一方、歳出を性質別に見ると、普通建設事業費が48億8千44万5千円と最も多く、全体の26.9%を占めています。これは、旧町における合併前の施設整備に、事業が集中したことを物語っています。



▶財政比較分析表は、類似団体の平均値を基準にしたときの各種比較をレーダーチャートで表したものです。町の六角形(赤色)が平均値(青色)の正六角形から外に広がれば広がるほど状態が良いことを示します。逆に内側に狭まるほど悪い状況です。類似団体とは、人口や産業構造によって全国の市町村を88の類型に分類したときの同類団体です。(福智町の場合、県内では須恵町や旧穂波町が類似団体)

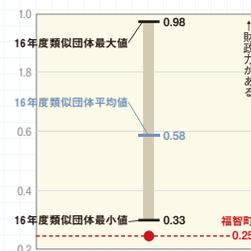
町の財政通信簿

現状を知る

町の財政再建は、まず現状を明らかにすることから始まります。総務省が年度末に発表する財政比較分析表は、いわば地方自治体の財政通信簿。平成17年度福智町普通会計決算の数値を16年度の分析表にのせてみると、厳しい財布の身が見えてきました。

財政力

財政力指数 [0.25]

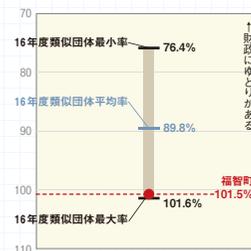


収入額を支出(需要)額で割った過去3年間の平均値です。指数が「1」に近い市町村ほど自力があり、指数が低いほど国への依存度が高いといえます。福智町は16年度の類似団体の最下位を下回り、全国でも最低の水準です。

16年度全国平均 0.47
16年度福岡県平均 0.44

財政構造の弾力性

経常収支比率 [101.5%]



人件費など毎年必ず必要とする経費を比較的安定している収入で割った指数。80%を超えると黄信号で「財政構造が弾力性を失い硬直化している」とされます。100%を超えた福智町は完全に赤信号、財政のゆとりはありません。

16年度全国平均 90.5%
16年度福岡県平均 91.9%

福智家の家計はもはや火の車同然

福智町の平成17年度決算は、とても複雑です。18年3月5日までは旧3町、3月6日から月末までが福智町であることから、4つの決算書が存在します。ここでは、わかりやすいように、その4つを合算した普通会計(公営事業会計を除いた会計)の決算統計と財政比較分析表から、福智町の財政状況を見ることにします。

福智町の財政が、類似団体に比べて特に悪いのが、財政力、経常収支比率、地方債残高です。毎年決まって出ていくお金を毎年決まって入ってくる収入で割り出した経常収支比率は、101.5%となり、財政状況に赤信号が点灯しています。70%80%

が好ましいとされている指数ですが、これを家計に置き換えてみると、こうなります。

例えば、お父さんやお母さんの給料が30万円とします。それに対し、食費や光熱水費、家のローンや教育費など絶対に必要なお金が34万5千円もあることになりま。もちろん遊びにも行けませんが、洋服なども買えませんが、銀行からの多額な借金があるのに、さらにお金を借り、貯金を崩して生活をやくりくりしているような状態です。このように福智町は自由に使えるお金が全くなく、財政は完全に硬直化しています。

また、財政力、地方債残高ともに、平成16年度における全国の類似団体の最下位を下回り「財政力がないのに借金が多い」ことが浮き彫りになっています。